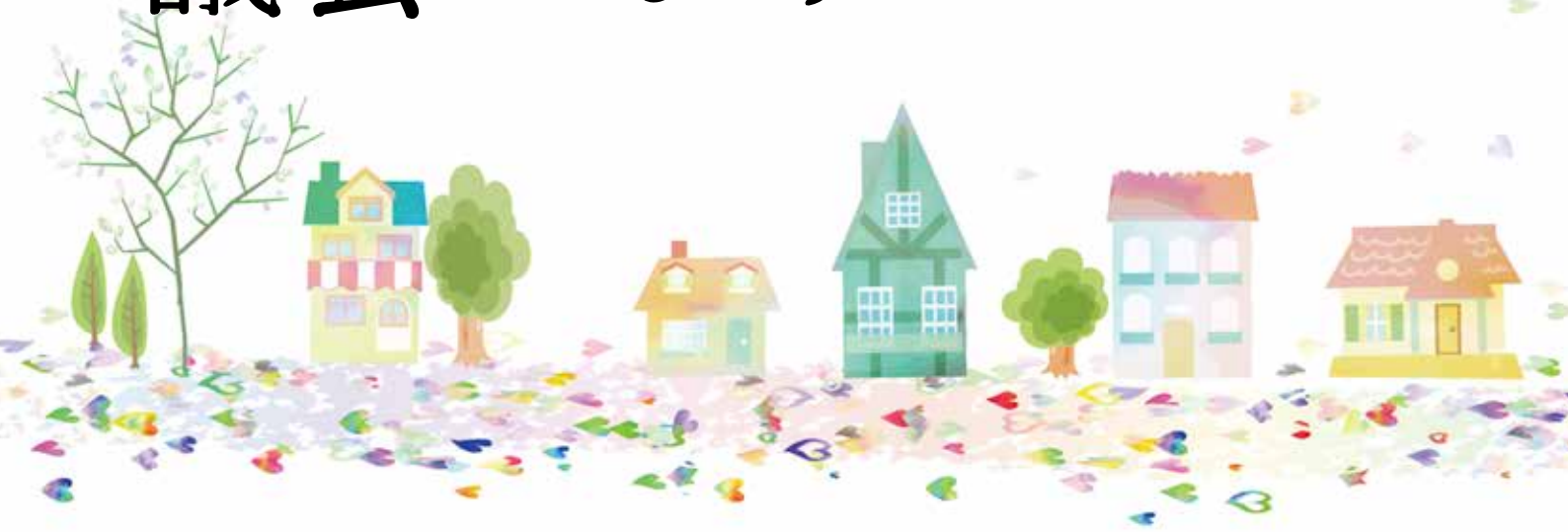
令和3年第1回定例会

令和3年5月1日　発行

せんなん 議会だより

2021 5 No.77



特集 私たちの視点

令和3年度予算 徹底議論！

プチ特集

意外と知らない、市議会の実態。

第2回
議員定数の推移！
昔はこんなに多かった！
編

学校等公共施設調査
特別委員会を設置しました

今議会は 代表質問

-会派としての、市長の市政運営・予算編成方針への質問を、会派代表が行います。

第１回
定例会
3月3日～3月23日

代表質問

スマートフォン等で、二次元コードを読み取ると、録画映像のページへアクセスできます。

古谷 公俊（大阪維新の会）

1.市長の市政運営方針について
※コロナウイルス感染対策について　※ワクチン接種について　※接種場所(イオンやあいぴあの活用は？)　※大阪府からの人口割当てで最初はどの位なのか？又、優先順位は？
※新型コロナウイルス緊急小口資金融資について
2.産業の活力が増し、にぎわいと交流が生まれるまち
※ふるさと納税について（アナゴ）以外の開発は？市の財政に直結する策は？　※ふるさと納税商品の代名詞3点（肉・米・酒）を造る考えは？　※商工振興について企業誘致の具体的な推進は？　※経産省でこの3月に緊急対策でコロナ融資の思い切った案について　※企業誘致と絡めた提案　※買い物カーの補助金制度・家賃補助事業について　※せんなんりんくう公園について　※オープンしてからの総括や課題更なる発展、次の戦略は？　※なみはやグラウンドについて
※PFIについて　※ワールドマスターズゲームズについて
3.快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
※JR和泉砂川駅前周辺について

大森 和夫（日本共産党）

【学校再編について】
●4案ある再編計画は、地域の宝である学校を統廃合するため賛成できない。
●全小中学校の校舎と体育館が指定避難所になっている。学校を残さないと、避難場所もなくなる。
●あおぞら幼稚園は統廃合の結果、園児数が半分以下に。学校統廃合で子育て世代や子どもたちが減少し、山手地域が衰退する。
●老朽化した学校の建て替え、改修を最優先に行うこと。

【コロナ対策について】
●ワクチン接種とPCR検査を大規模に行うこと。
●子ども医療費助成制度は18歳まで拡充すること。
（予算を増額しなくても実現できる）

【市役所改革について】
●汲みとり券横領事件の再発防止と徹底解明が不十分である。

谷 展和（新風会）

市長の市政運営方針について代表質問を行いました。
主な質問として
1.①人権行政　②コロナ差別　③DVについて　④JETプログラムについて　⑤小中学校再編計画について
2.①育児ケア・サポートについて　②児童虐待について　③生活困窮者の支援について
3.①泉南りんくう公園について　②観光について
4.①自主防災について　②災害時相互応援協定について　③防犯カメラの設置計画について
5.①砂川樫井線の進捗について
6.①市民協働の取組みについて　②マイナポイント延長による周知　③スマートフォンアプリを活用した公金決算ツール　④ふるさと納税について

最後に竹中市政２期最終年度にあたり市長の思いをお聞きしました。

堀口 和弘（未来せんなん）

●女性活躍について
●学校統廃合について
●日本遺産「神武東遷」について
男神社に加え、茅渟神社や信達神社等も加えた今後の展開は如何？
●定住人口増のための企業誘致、開発可能となるよう、市街化調整区域の戦略的見直しが必要ではないか？
●農業効率化のため、圃場整備をするべき
●災害時における在宅避難者への支援について
●砂川樫井線の延伸について
●一丘団地の再生について
●市民公益活動団体との協働を促進するべきでは？
●周辺自治体との広域連携による事務の共同処理について

竹田 光良（公明党）

今定例会で私は、公明党を代表して、竹中市長に対して３０項目の質問を行いました。
まず、新型コロナウイルス感染症の収束への切り札として期待されている、ワクチン接種事業についての決意をお聞きしました。また、国際教育についてでは、ＪＥＴプログラムへの期待と、10年間は継続事業として行うよう求めました。
女性活躍推進と、男女平等参画についてでは、市長の男女平等についての認識と、女性参画社会と市役所内での女性の活躍の場について質しました。
子育て支援についてでは、具体的な支援策や市民の健康・命を守る姿勢について問い、高齢者が住みよいまちづくりとして、買い物困難についての見解を質し、企業誘致の促進やせんなんりんくう公園の充実などまちづくりについても、市長の見解をお聞きしました。

http://machiiro.town

せんなん議会だよりはアプリ配信中。

一般質問

各議員から提出された原稿をそのまま掲載しています。
掲載順位は質問順です。

森 裕文（未来せんなん）

老朽化学校施設の更新について

泉南市教育問題審議会は時間稼ぎ

学校再編は市民の意見を充分に聞いた上で、市長が可及的速やかに決断すべき

先送りを繰り返しても財政は改善しない

財政方針を転換して、借金を無駄に恐れず有効に活用して、財政出動して、地域経済の活性化を計れ

決断を逃げて先送りすればする程、財政は先細り
何もしないで迷惑を被るのは市民ばかり

井上 実（大阪維新の会）

●新型コロナウイルスワクチン接種について
➡周知啓発についての確認。
●要望書の共有について
➡４月以降HPにて随時公開。
●LINEの活用計画について
➡活用計画の重要性を提言。
●行財政改革について
➡市民に対しての現状の説明を訴え、７月に財政説明会を開催するとの答弁。
●公共施設等個別施設計画について
➡複合化、集約化の素案を求める。
●小中学校再編計画について
➡４月から説明会が始まる。YouTube動画も作成する。
●まちづくり戦略について
➡事業の定期的な見直しを提言。

添田 詩織（新風会）

●冒頭活動報告●
“ウイグルを応援する全国地方議員会”代表理事としての活動とウイグル問題について。
泉州のご当地アイドル“泉州VIOLET”結成とロングパークでの大型イベント誘致について。
1.泉南市の公式LINE導入の進捗状況について
➡令和3年3月12日本格運用開始。積極的な行政情報の発信を行うよう求めるとともに、個人情報の保護などセンシティブデータの取扱いについて適切な対応をとるよう議場で指摘した。
2.市街化調整区域の変更と定住人口増について
➡・今後市として交流人口のみならず、定住人口を増やしていく施策について。
・人口増を目指すための都市計画や市街化調整区域の変更について。
3.市独自のコワーキングスペース・学習スペースの設置について
➡コロナ禍において在宅勤務者が増えたことや近年ノマドワーカー人口が増えたことに伴って、市としてのサポートや対策。既存公共施設の有効活用を提案。
4.高齢者等を対象にした乗合いタクシーサービスについて
➡免許を返納した高齢者などの交通難民・買い物難民と呼ばれる生活弱者への市としての対策を求めた。

岡田 好子（公明党）

1.子育て世代包括支援センターについて
①更なる体制整備➡不安解消し継続的支援を
2.市民サービスについて
①買い物支援➡移送サービスの提供を
②お悔やみコーナー設置➡遺族の負担軽減を
【市長答弁】
予約を頂いた際、希望あればサポート職員が付き添う。
3.教育現場について
①児童・生徒の心と体の健康について➡道徳授業に対する学校格差と起立性調節障害等健康面の影響は
②不祥事防止対策➡不祥事防止対策への取組と被害児童や生徒のケア・教員間の相談体制は
③ヤングケアラー➡認識と実体とケアは
④文化芸術体験➡感性・情操・想像力を育む取組計画を

4.災害対応力の強化について
①市の対応力➡災害時個別支援計画作成の進捗状況と、平常時の気象台との連携や防災機関OB職員の活用は

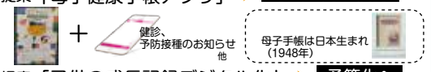
楠 成明（日本共産党）

1.泉南市立小中学校再編計画について
●住民説明会について
・住民への説明を丁寧に行い、住民の声をよく聞いて“再編計画ありき”にならないよう求める。
・子どもの数が減っているから学校を統廃合していくでは希望がない。この泉南市で子育てしやすい環境をつくり、子育て世代を応援する施策を考えるよう求める。
2.駐輪場の廃止計画、有料化計画について
・樽井第2駐輪場の廃止計画は地元から反対の声も上がっている。利用者の声を聞いて廃止計画は撤回すること。（その後の質疑で廃止計画は撤回を表明）
・コロナ禍での有料化は市民にとって負担であり反対。
3.新型コロナウイルス対策について
●ワクチン接種について
・市民の不安にこたえ、情報提供を迅速に積極的に行うこと。（3月1日より泉南市コールセンター設置）
●支援策について
・減収や失業した人たちへの支援が必要。学校給食の無償化の継続、地域振興券の再配布などを求める。

石橋 正敏（大阪維新の会）

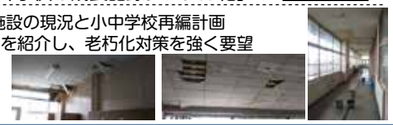
1. 新型コロナcovid-19ワクチン接種が円滑にできる態勢
提案「アプリ(LINE)による予約システム」→ 導入決定

2. ＩＣＴによる地域活性化
提案「母子健康手帳アプリ」→ 導入へ向け検討



提案「子供の成長記録デジタル化」→ 予算化へ

3. 学校施設の現況と小中学校再編計画
実態を紹介し、老朽化対策を強く要望



河部 優（新風会）

1.教育行政として
①小中学校再編計画について、保護者や市民への説明に関しては時間をかけて丁寧に行うべきではないか。
【答弁】じっくり時間をかけて後ろを決めずに行いたい。
②教科センター方式について教育委員会の関わりは。
【答弁】昨年９月に答弁した検討委員会は現時点でできていない。早急に立ち上げ泉南中学校をサポートしたい。
2.市の住宅施策として
①市営前畑住宅の建て替え方針となる長寿命化計画への位置づけはどうなるのか。
【答弁】前畑住宅の耐震、浴室設置のない４棟については、令和４年度から６年度にかけて住み替え対策を行いたい。建て替えについては長寿命化計画の中で早急に示したい。
●その他、子どもの貧困問題、コロナワクチンの問題、フィリピン・ダバオ市との友好都市協定の進捗などについて質問しました。

プチ特集

意外と知らない、市議会の実態。

第２回
議員定数の推移！
昔はこんなに多かった！
編

泉南市議会は、議員定数についての議論を重ねながら現在に至ります。今回の特集は、市制施行以降の議員定数についてです。

昭和45年7月1日に市制施行

■ 定数の変遷

「泉南町」から「泉南市」となった時（昭和43年一般選挙後） **30名**

➡ 昭和59年 一般選挙 26名
➡ 平成12年 一般選挙 23名
➡ 平成16年 一般選挙 20名
➡ 平成24年 一般選挙 18名
➡ 平成28年 一般選挙 16名
➡ **令和 2年 一般選挙 15名**

平成23年の地方自治法改正により、議員定数の「法定上限」が撤廃。市町村の議員定数は条例で定めることとされました。
法律による定数の制限がなくなり、自治体の判断で議員定数の設定が可能となりましたが、その根拠等を、市民の皆さまに対して説明する必要があると言えます。

■ 大阪府下他市との比較（定数・人口）

阪南市	14名	約5.3万人
四條畷市	12名	約5.5万人
高石市	16名	約5.7万人
大阪狭山市	**15名**	**約5.8万人**
泉南市	**15名**	**約6.1万人**
藤井寺市	14名	約6.4万人
柏原市	16名	約6.8万人
泉大津市	16名	約7.4万人
交野市	**15名**	**約7.7万人**
貝塚市	18名	約8.5万人

ちなみに、近隣の泉佐野市は定数 18名（人口約9.9万人）

特集 私たちの視点
令和3年度予算を徹底議論！

正副議長を除く全員が委員

第１回定例会において、泉南市の各会計新年度予算が成立しました。
予算審査特別委員会では、予算案に係る様々な事業が市民にとって今必要なものなのか、予算配分は適切に反映されているかなど、慎重に審査を行いました。
委員会での議論について、ピックアップしてお伝えします。

可決 賛成多数

Pickup 予算

市税 85億4,381万1,000円 ↘

新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施
2億6,482 万円 新規

砂川樫井線新設事業 1億1,400万円 ↗

総合防災マップの作成
931万6,000円 新規

企業誘致の予算がほとんど組まれていない。先が見えない。一朝一夕にできるものではない。畑を耕し、種を蒔いて。地域の魅力を整理して、ターゲットをしぼって活動を行うことが重要。

小中学校再編計画について、自身の地域だけではなく、市内全域のことを考える責任がある。4案から決めるのは難しいのでは。

A～Dの4案から選ぶというのではなく、まずは皆さまから色々ご意見をいただいて、全小中学校で開催の説明会がすべて終わった後、修正していく必要があると考える。
すべてのご意見の集約を行い、審議会で丁寧な議論を進めていく。

ほとんどの小中学校が避難所となっている。今回の学校再編計画には除却費用が組み込まれているが、除却していい学校はひとつもないと考えるが。

除却費用を含め、すべてにおいてかかる費用を想定して行動する必要があると考える。“避難所をつくらないのか”“避難所が一斉になくなるのか”という意味ではなく、跡地利用も含めて避難所を確保するための別の方法等、様々なケースを考えていく。“できないから再編を考えるのはだめ”とか“まとまらないから再編を考えるのはだめ”ということではない。そして“再編計画を進めるから避難所のことを考えていない”ということでも決してない。

市民生活が大変な中で、駐輪場有料化を考え直してほしい。もしくは他市のように、屋根等整備した上で有料化することがベストでは。

整備をするのがベストだが、整備をすれば、その分利用料金（自転車1台100円/日以内、原付バイク1台150円/日以内）の増額につながる。清掃を定期的に行うなどしながら運営していく。できるだけ低額でご利用いただきたい。

市の行う要支援者への介護予防事業。幅広く専門資格の分野を検討することで、予算を有効に使えるのでは。

平成31年4月の法施行により市に譲与開始となった森林環境譲与税。使途として担い手確保、人材育成はもちろん、森林セラピーの実施などを市が企画するのも面白いのでは。

日本産木材の理解が深まることについて有用と考える。今後、検討する。

国道26号線 泉南市役所南交差点から砂川変電所前交差点付近の道路空間再編について、進展していない理由は？

交通管理者との協議が難航。今後も粘り強く進める。

介護施設、保育施設等へのコロナ対策支援の状況は？

介護等の施設にアンケートを実施し、不足しているものなどを調査したのちに、物品を支援。また保育施設に対しては、職員手当に充てていただきたい旨を伝え、1施設あたり50万円を支給した。

総合防災マップ更新についての重要項目は。また、津波到来に備えた踏切表記のあるハザードマップ作成は？

重要ポイントは、令和2年度中に府が新たな高潮浸水想定、洪水浸水想定の見直しを行ったことから、それらを反映した点。平成29年2月に総合防災マップを全戸配布しているが、今回も新たな総合防災マップを3万部作成予定。地震や風水害など、色々な災害リスクをお知らせすることで、いざという時の避難行動につなげていただきたい。
また、踏切表記は他自治体を参考に、可能かどうか内容を検討していく。

日根野以南に賢い踏切が整備されていない。JRに対し、今以上の要望を。

固定資産税の今後の見通しは？評価替えの影響、ロングパークの税収は？

ロングパークに係る固定資産税(アスレチック施設・飲食店等への課税)は10年間減免。令和13年度より課税開始。令和3年度は3年に1度の評価替えの年であるが、地価が上昇した土地は、税制改正により額は据え置くことになる。

ふるさと応援寄附金は、財源確保の有効な手段。泉南市は府内で寄附件数断トツ1位（約4万件）。
他と比べる必要はない。目標を掲げ、推進チームをつくるなど考えるのもひとつ。

市役所の全庁的なキャッシュレス化は？

保険料等、数種類はすでに、二次元バーコード決済つき納付書を導入している。令和3年度は、PayPayを導入予定。また、新たに情報政策係をたちあげ、調査研究していく。

固定資産税は市の大きな税収。
今後、評価替えによる減収対策には工夫が必要では。

泉南市の借金の多さは大阪府下の市の中でどのくらいの位置にいる？将来の見通しは？

令和元年度決算では、住民1人当たりの借金残高は府下ワースト3位。現状、地方債の発行額を抑えて、年間5~6億円ずつ減らしてきた状態。今後、学校の老朽化対策等行うことを想定すれば、さらに厳しい状態になっていく。年間、2~3億円ベースで少しずつでも減らしていきたい。

くみとり手数料の計上について、今までの教訓をどう活かしている？

くみとり券の残数管理、売上金の確認などを都度行っている。職員による、販売所への売上金の集金をなくすことや、くみとり券を廃止することについては課題が多いが、事業者とも継続して協議していく。

敬老会事業の予算は地域福祉基金を財源として、560万円を計上。使途として無理があるのでは。

泉南市地域福祉基金条例に基づき、第3条にある健康及び生きがいづくりの推進に係る事業として行っており、地域のつながりをつくっていくことが大事であると考えている。

国保の“コロナ減免”。利用状況は？また書類の煩雑さを検討すべきだし、周知を積極的に行うべき。

令和3年2月末現在で317件が該当。通知書に同封しているがわかりにくいとのお声があるので、わかりやすい周知に努める。

不要物品売払収入の中身、近年の状況は？

市民の方々のご協力により、新聞やダンボール等分別していただいた物品の売払金額のこと。例年200万円程度あり、大切な市の収入と考えている。

住居表示の今後の見通しは。ICT化により、その必要性をどう見る？

平成8年以降、凍結状態。地図情報が発達している中で、予算のこと、市民の方々への負担等々考えながら検討していく。

方針がしっかりしていればいい。できないならできないと言う。スマホの活用という方法もある。

産後ケアは、生命守るために必要なもの。

コミュニティバスのバス停には屋根やベンチのないところもある。今後設置の見通しは？また令和3年度に予定している利用者アンケート実施時期は？

猛暑対策事業に係る補助金を活用し、設置を検討していく。また5月から2ヶ月程度、アンケートを実施予定。市民ニーズ把握に努める。

特産品PRは外部の力に頼った方がいいのでは。ロングパーク、恋人の聖地がカギ。ここは割り切って有効なお金を使うべきでは。

市の魅力をわかっておられるのは住民の方。住民の力を育てていきたい。今後、“せんなん銘品”として8品ほど認定し、泉南市の知名度アップ、泉南ブランドを確立させたい。

市の事業の観光協会委託は、具体な内容が見えづらい。フェイスブックだけじゃ伝わってこない。発信の仕方にも工夫を。

日本遺産認定に係る予算計上は？

今までに2回チャレンジした。令和3年度に日本遺産候補に選定されれば6月に補正予算を計上予定。前回にはなかった、新たな「神武東遷」のストーリー展開をご用意し、市内様々な名所のルート周知を図っていく。

【一般会計予算：反対討論】
●コロナ対策や市民を支援する施策が不十分。○他市並みに、就学援助金や、医療費助成を18歳まで拡充。○避難所となる学校、老人集会場、公民館の老朽化対策を最優先に、西信達中・信達小の建て替え計画を進める。○ワクチン接種とともに大規模にPCR検査を実施する等は、財政難でもできる。●樽井・岡田浦の駐輪場廃止計画を改め、存続には賛成する。

【介護保険事業特別会計予算：反対討論】
消費税率は引き上げられたが、保険料も引上げになる。現在の介護保険は、サービスの利用が増えたり、介護職の労働条件を改善すれば、保険料・利用料の負担増に跳ね返る。これを改善するために、社会保障費削減路線を転換し、高齢者も現役世代も安心できる介護制度の実現を求める。

議案審議

提出された議案の中から、主な質疑、討論を要約してお知らせします。
全ての議案の賛否一覧は次ページのとおりです。

3月8日本会議4日目映像
（議案の提案理由及び質疑等）

3 月 23 日最終本会議映像
（委員長報告、討論及び採決）

1

【議案第9号】泉南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

第8期 介護保険事業計画期間
令和3年度から令和5年度までの介護保険料が決定しました。
（65歳以上）

可決 賛成多数

●主な内容●

□ 保険料設定は、所得に応じた14段階に。

□ 基準額となる第 5 段階の方は年額 7,5000円
➡本人が市民税非課税で、本人の年金収入額（課税対象のもの）と合計所得金額を合わせると80万円超の方。

□ 令和3～5年度の被保険者数に対する要介護・要支援認定者数を推計し、これまでの給付実績の分析や、施設・居住系のサービス事業費等を見込んだ上で保険料を算出。

＊平成12年4月1日にスタートした介護保険制度。3年に1度介護保険事業計画を策定し、見直しを行います。

2

【議案第5号】特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

財政状況を勘案し、市長・副市長・教育長の給与減額
措置期間を延長します。（令和3年4月1日から令和7年3月31日までの4年間）

可決 全会一致

●主な内容●

市長 --- 85万円（条例月額）➡72万2,500円（減額改正後）＊ 12万7,500円減
副市長 -- 72万円（条例月額）➡65万5,200円（減額改正後）＊ 6万4,800円減
教育長 -- 65万円（条例月額）➡61万7,500円（減額改正後）＊ 3万2,500円減

新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を計上（令和2年度 補正予算）

●児童扶養手当認定者（R2年7月~R3年3月）に対する給付金を新規計上
(児童1人につき5万円・2人につき8万円・3人につき11万円)
482万8,000円

●市内医療機関等に対する支給金を新規計上
2,000万円

●移動販売車両費用及び諸経費への補助金を新規計上
500万円

●文化ホール・市民体育館・市民球場・双子川テニスコートへの休業要請に伴う指定管理者への休業補償金を新規計上
203万9,000円
等

新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算を計上（令和3年度 補正予算）

●市民課窓口-混雑情報配信機能付き呼出システム導入等に係る経費を新規計上
1,392万6,000円

●総合福祉センター空調機の購入等に係る経費を新規計上
820万円

●教職員のオンライン授業・幼稚園業務に係るシステム構築等に係る経費を新規計上
3,652万9,000円

●図書館・青少年センターの手洗い用自動水栓化等に係る経費の新規計上
389万1,000円
等

【議案賛否一覧】

○➡賛成　×➡反対　－➡報告事項の為採決はとりません

議案番号	案件名	結果	大阪維新の会				公明党		新風会			日本共産党		未来せんなん		無所属
			古谷 公俊	石橋 正敏	井上 実	山本 優真	岡田 好子	竹田 光良	澁谷 昌子	谷 展和	河部 優	添田 詩織	大森 和夫	楠 成明	森 裕文	堀口 和弘	田畑 仁
泉南監報告第16･18･1号	例月現金出納検査結果報告	報告済	－	－	－	－	－	－	※議長職を執り行うため、賛否に加わりません。議長は賛否同数のときのみ裁決し、議案の可否を決定します。	－	－	－	－	－	－	－	－
報告第１号	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第9号))	原案了承	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
報告第２号	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第10号))	原案了承	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第１号	泉南市教育委員会委員の任命について(太田 淳子氏)	原案同意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第２号	市道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第３号	泉南市生産緑地地区に係る農地等の区域の規模に関する条件を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第４号	一般職の職員の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	×	×	○
議案第５号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第６号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第７号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第８号	泉南市特定教育･保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び泉南市特定教育･保育施設及び特定地域型保育事業の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第９号	泉南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
議案第10号	泉南市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和2年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和2年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和2年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和2年度泉南市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和3年度大阪府泉南市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
議案第16号	令和3年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17~26号	令和3年度大阪府泉南市狐池財産区会計予算　ほか9件	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	令和3年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
議案第28号	令和3年度大阪府泉南市汚水処理施設管理特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	令和3年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
議案第30号	令和3年度大阪府泉南市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和3年度大阪府泉南市公共用地取得事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○
議案第32号	令和3年度泉南市下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	令和3年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	令和3年度大阪府泉南市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第１号	オンライン本会議の実現に向けた地方自治法改正を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第２号	泉南市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	閉会中の継続調査	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第３号	泉南市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	閉会中の継続調査	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第１号	特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
	閉会中の継続調査について	継続調査	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

委員会の招集場所への参集が困難と判断される実情がある場合、オンラインを活用した会議の開催を可能にするため、委員会条例の改正にむけた議論を今後、議会運営委員会にて行います。

意見書を提出しました

3月23日の最終本会議にて右記意見書を上程し、採決の結果、全会一致で可決となりました。
可決された意見書は、泉南市議会からの意見・要望として、国会や、国・府の関係行政庁宛に提出いたしました。

＜提出先＞

内閣総理大臣
総務大臣
衆参両院議長

オンライン本会議の実現に向けた地方自治法改正を求める意見書

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、相当数の議員が自宅待機等を余儀なくされる場合においても、急を要する感染症対策議案の審議、議決が求められる事態が、現実のものとして想定されている。したがって、定足数を満たす人数の議員が議場（招集場所）に参集出来ない場合においても、議案審議、表決などが行えるよう、議会運営方法を整備しておく必要がある。

しかしながら、我が国においては地方自治法第113条及び第116条第1項における「出席」の概念は、現に議場にいることと解されているため、オンライン会議による本会議運営は、現行法上困難とされている。

一方で、総務省は令和2年4月30日付総行行第117号で、委員会運営については地方議会における判断によってオンライン化は可能との見解を示したが、本会議でもオンライン化ができなければ議会運営上の利点は限られる。

議会の意思形成過程である委員会審議において、オンライン化の有用性を認識しながら、本会議における導入を否定する現行の法律では、合理性に欠ける。

よって、国及び政府においては、議場に参集できないような非常時や、その他必要と認められるやむを得ない場合には、地方議会の判断で本会議運営をオンライン会議により、遠隔審議、議決が可能となるよう地方自治法の改正を強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年3月23日

泉 南 市 議 会

議決結果
令和3年3月23日　原案可決

学校等公共施設調査特別委員会を設置しました

岡田 好子議会運営委員長より、特別委員会の設置について、委員会提出議案第1号を提出しました。

泉南市の公共施設の多くは老朽化が進んでいます。
施設ごとの老朽化の度合いや利用状況等を整理した上で、長寿命化や更新等の対策を実施する際の優先順位などを示した**「個別施設計画」**（第1期：令和8年度まで・学校施設は含まない）、
学校施設に関しては**「泉南市立小中学校再編計画」**<複数原案>、
今後の重要な位置づけとなる2つの計画がそれぞれ公表されました。
「個別施設計画」は実施時期、対策費用の概算などを施設ごとに整理した具体的な取組方針等を、
「小中学校再編計画」<複数原案>は4つの再編案を示したものです。
今回設置した特別委員会において、学校施設の今後の在り方について調査・研究を行い、また公共施設の集約化や複合化、利活用促進のための議論を市とともに行います。

【委員構成】
岡田 好子委員・添田 詩織委員・石橋 正敏委員・井上　実委員
大森 和夫委員・竹田 光良委員・河部　　優委員・堀口 和弘委員・田畑　仁委員

編集後記

今回は議員定数の推移について調べてみました。
プチ特集も残り2回！皆様の取り上げてほしい市議会の実態がありましたら議会事務局までご意見をお寄せください。

次回は6月定例会

せんなん議会だより　令和3年5月1日発行 No.77
発行・編集／泉南市議会報編集委員会〔委員長　井上　実　副委員長　楠　成明　岡田 好子／添田 詩織／堀口 和弘／田畑　仁〕
〒590-0592
泉南市樽井一丁目1番1号
TEL:072-483-0008　FAX:072-484-2085
E-mail:gikai@city.sennan.lg.jp